

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2019年1・2月号

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第601号

昨年の10月、関西セミナーハウスで「戦争を考える」シリーズの一環として「宗教改革者たちの戦争観」について話をする機会が与えられた。神の国ではないこの世に平和を実現するために、キリスト者として何を考え、行わしめるのか、宗教改革者たちの多様な理解に学びつつ、意見を交わすことができた。参加者それぞれが聖書に基づいて平和の問題を考え、真摯に社会の問題に関わりとうとしている姿を知りえたのは、なによりも幸いなことであった。その一方で、それが「はなしあい」に発展することなく終わったのは残念であった。それぞれは、残念であった。それぞれは、考えを主張することはなされても、それとは異なる主張を理解しようとする作業には至らなかつたのである。その背景には、キリスト教であれば、このように考えるはずである、このように考えなければならぬという思い、すなわち一つの「正解」を求めらるる姿勢があるように感じられた。

歴史を振り返っても、キリスト教はその神学理解の違いにより、対立や争いを繰り返

してきた。20世紀に入り、エキュメニカルの試みが進められる中でも、神学主張の違いが相互理解を妨げることが強く意識されてきた。一九二五年の「生活と実践に関する世界キリスト教会議」の標題、「教理は分裂をもたらし、奉仕は一つにする」という言葉が何よりもそれを表している。愛や平和について議論しながら、対立や排他的な態度が示されるのであれば、本末転倒であるだろう。今回の参加者の中にはキリスト教の考えを学ぼうとして来られたノンクリスチャンもおられた。どのような思いで議論を受け止め、キリスト教にどのような印象をもたれたのかと考えると、心が痛み、責任を感じずにはおられなかつた。

## 「はなしあい」の難しさ

関西セミナーハウス活動センター運営委員

村上 みか



クリスチャン・アカデミーの理念は、異なる意見や立場の者が、ともに集い、話し合いを通じて相互の理解を深める場を提供しようというものである。この理念を実現させるためには、異なる意見をもつ者が容易には相互理解に至らないことを意識しつつ、そ

ながら、対立や排他的な態度が示されるのであれば、本末転倒であるだろう。今回の参加者の中にはキリスト教の考えを学ぼうとして来られたノンクリスチャンもおられた。どのような思いで議論を受け止め、キリスト教にどのような印象をもたれたのかと考えると、心が痛み、責任を感じずにはおられなかつた。

分とは異なる見解を受け止めようとする姿勢が、「はなしあい」の前提として必要であるだろう。それにより、自分の主張を相対化し、相違を多様性として受け止める和解の作業が可能になるのだと思う。その中で、自らの見解の修正や建設的な議論の展開が、おのずと生じてくるだろう。主催者も参加者も、このようなことを考えて「はなしあい」に臨めば、それは実りあるものとなるだろう。一つの正解や統一的な見解を求める姿勢は、ここでは不要である。

このような「はなしあい」の姿勢は、まさに愛と平和の実現に通じる。いずれについても、宗教改革者たちの言葉は、今なお意味をもつと思われる。それは、人間はそのままで愛と平和を実現しえず、自らの罪を悔い、変革され続ける人間によってそれが可能となる、というものである。愛と平和がユートピアに終わらず、この世に少しでも実現されることを、そして私たちがその担い手となりうることを、新しい年の初めに切に願うものである。

(同志社大学神学部教授)

関東活動センター

●2018年度 関東フォーラム 宗教対話Ⅰ  
 「日本キリスト教史を読む」Ⅱ(大正篇)  
 オプシヨナル・ツアー  
 「明治・大正期に創立された教会」  
 信濃町教会、淀橋教会を訪ねて

2018年10月25日(木)



淀橋教会の千人会堂にて新川牧師の説明を聞く

日本クリスチャン・アカデミーの連続講座「日本キリスト教史を読む」の第二期は、十二月十三日に「矢内原忠雄とその時代」をもって、好評のうちに終了しました。この講座のスピン・オフ・プログラムとして、昨年に引き続き第二回目のオプシヨナル・ツアー「明治・大正期に創立さ

れた教会を訪ねて」が、十月二十五日(木)に実施されました。

ナビゲーター役の戒能信生講師を含め総勢十九名が、午前十一時に信濃町教会に集合。出迎えられた笠原義久牧師から八角形の基本形で造られている禮拜堂を案内され、荘厳なパイプ・オルガンの響きに心整えられて、集會室教会学校設備、厨房などの施設見学をしました。特に、創立者高倉徳太郎牧師の著作を初め、神学書や聖書注解書等が充実した図書室が印象的でした。二階集會室で、日頃特別行事の際に取り寄せられる四ツ谷三丁目の有名な「八竹」の茶中寿司で昼食。参加者一人一人が自己紹介、仕事を休んでの参加や遠方からの出席者もおられ、関心の深さに驚



番町教会の新会堂で、内山宏牧師の説明を聞く

きました。

しばらく以前に、信濃町教会では八十歳を過ぎた教員が百名を越えていると仄聞していましたが、現状はさらに増加して、百十名を越えているとのこと。けれども、最近、近隣の子どもたちが両親と一緒に禮拜に参加するような事例も出てきているとの明るい話題も聞くことが出来ました。これからどんな世代交代が行われるのかと思ひました。

次はJRを一駅乗って、四ツ谷駅から外濠の内側を徒歩五分の番町教会へ。同志社一期生の小崎弘道牧師が靈南坂教会を設立して牧会の傍ら、番町に聖書講習所を開いて始められた組合系の教会と

のことで。今年新築移転したばかりの禮拜堂、集會室、牧師館が、三階建て一体になった新会堂を見学しました。この事業にご苦労された牧師が転任され、新任の内山宏牧師は詳しいことはあまりご存じない様子。これも天の配慮ということでしょうか。

近くパイプ・オルガンが禮拜堂二階に組み立てられ、据え付けられる作業が始められるとのこと、住居専用地域の制約の中で、期待される音響効果が発揮できるよう祈りました。

最後は、これまたJRで十分ほどの大久保駅で降りて淀橋教会へ向います。以前は日本基督教団に属し「ホーリネスの群れ」の中核教会であった淀橋教会は、現在は教団を離れ、ウエスレアン・ホーリネス教団を設立し、アジア諸国に向けての国際連携に軸を移して活動を展開しているようです。千名の会衆を収容できる巨大な禮拜堂は、和風の雰囲気漂う落ち着いたものでもありました。教員は、地域別や年代別に組織され、活発な集會や愛餐会が、開放された空間を含めて催され、強い

絆で結ばれ、伝道活動の推進力となっている様子が伺われます。

講座で取り上げられたホーリネス教会の創始者中田重治の事績は見受けられず、笹尾鉄三郎記念室、小原十三司記念室などに見られるように、この教派の先達に対する敬愛と評価の一端を窺い知る想いでした。

教会施設の隅々まで丁寧に案内してくださった新川代利子牧師のこの教会を愛する熱意と、この教会が中心となって歩みを続ける教団の歩みにギャップを感じながら、この教派が繰り返して来た分裂と抗争は一体何なのかとも思わされたことでした。

この講座の資料を中心とした日本キリスト教史の歩みの学びに加え、教会堂という建物やそのたまたまを五感を通して受け止めることができ、一層の理解が深められる貴重な経験に感謝したいと思います。(報告 条谷昌)



# 謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正

評議員 神崎 清一 理事 戒能 信生

木原 活信 神保 正男

小原 克博 土井 健司

西原 廉太 中井 博雅

増田 琴 中村 信博

柳井 一朗 監事 黒岩 裕二

横野 朝彦 棟方 信彦

(五十音順)

関東活動センター 関東運営委員長 戒能 信生

所長代行 原 牧人

関西セミナーハウス活動センター

関西運営委員長 小久保 正

所長代行 榎本 栄次

関西セミナーハウス 経営委員長 神保 正男

館長 シュベネマンクラウス

本部事務局

事務局長 奥田 豊

職員一同

## 関西セミナーハウス活動センター

●2018年度

関西セミナーハウス

### もみじまつり

2018年11月23日(金・祝)

共催 関西セミナーハウス

9月の台風で、多くの枝や葉が吹き飛ばされ、茂っていた葉を櫛ですいたようになり、空が広く見えた。青空に紅葉が良く映えていた。

恒例の茶席三席は、各席の特色が活かされ、能舞台での、邦楽は、実力の高い演奏が参加者に好評であった。午後のコンサートでは、2年ぶり登場のフルート奏者 園城三花さん、ピアノのナネット・クリスチーネ・ゴレッツコさんが、日本の四季にちなんだ曲などの演奏で参加者を楽しませてくださった。展示は、所蔵品から、聖書の物語をアジアの村を舞台に描かれたものや、伝統的な手法で描かれたものなど、アジアの作家ならではの工夫のある作品を味わった。



### もみじまつり寄付金

2018年11月1日~12月31日(順不同・敬称略)

- 佐野 千枝子 1,000
- 飯田 ふみ子 5,000
- 白子 宗令 10,000
- 松本 圭子 5,000
- 奈倉 道隆 3,500
- 中村泰洋園 中村英明 10,000
- 株式会社三原工務店 10,000
- 匿名 1,500
- 都木 弘子 1,000
- 宮本 桂子 3,000
- 安藤 信策 2,000
- 鳥井 清司 2,000
- 牛尾 宣夫 10,000
- 小林 哲夫 5,000
- 社会福祉法人修光学園 5,000
- 竹中 百合子 5,000
- 柳井 一朗 5,000
- 島田 恒 5,000
- 株式会社祇園辻利 3,000
- 山田 幸子 2,000

ありがとうございました。

プログラム案内

◆関東活動センター

■2018年度関東フォーラム 宗教対話V 礼拝の話し方ワークショップ(ステップ・アップ講座)

「礼拝の言葉を豊かに」⑥(全6回) 講師:友野富美子さん(経堂緑岡教会副牧師、元声優) 日時:2月12日(火)15:00~17:00 会場:日本基督教団巣鴨ときわ教会 参加費:1,200円

■2018年度聖書を読む講座I

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」⑩(全10回)

講師:山口 里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター) 日時:2月12日(火)18:30~20:00 会場:早稲田奉仕園スコットホール222号室 参加費:1,200円/学生500円 共催:早稲田奉仕園

■第10回神学生交流プログラム

講師:戒能信生さん(日本基督教団千代田教会牧師) 校長:関田寛雄さん(日本基督教団神奈川教区巡回牧師) 日時:2019年3月13日(水)~15日(金) 会場:イエズス会鎌倉黙想の家 対象:学校推薦を受けた神学生

◆関西セミナーハウス

■月釜 清心会

日時:2019年2月10日(日) 9:00~15:00 受付 於:関西セミナーハウス

財団本部 http://www.academy-nippon.com 関東活動センター http://www.academy-tokyo.com 関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/ 関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 小久保 正 本部事務局 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 TEL 075-711-2147 FAX 075-701-5256 関東活動センター 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館1F TEL 03-3207-6198 E-mail:info@academy-tokyo.com 関西セミナーハウス/ 関西セミナーハウス活動センター 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 TEL 075-711-2115 E-mail:info@kansai-seminarhouse.com 関西セミナーハウス活動センター TEL 075-711-2117 E-mail:office@academy-kansai.org

年会費:4,000円、臨時会費1,000円 ◆関西セミナーハウス活動センター ■2018年度修学院フォーラム「社会」 第7回「キリスト教から見たナショナルリズム-北方領土交渉を中心に」 講師:佐藤 優さん(作家・元外務省主任分析官・同志社大学神学部客員教授) 日時:2019年1月26日(土) 13:30~17:30 会場:関西セミナーハウス 参加費:3,000円 学生500円(コー

ヒー付) ■2018年度修学院フォーラム「福祉」 第2回「キリスト教と社会福祉-他者の痛みへのコンパッション(共感共苦)をめぐって-」 講師:木原 活信さん(同志社大学社会学部教授) 日時:2019年2月16日(土) 13:30~17:30 会場:関西セミナーハウス 参加費:2,300円 学生500円(コーヒー付)

賛助会費・寄付金報告

2018年11月1日~12月31日(順不同・敬称略)

◆関東活動センター 賛助会費

戒能 信生 10,000 松浦 茂長 5,000 島田 治夫 2,500 大川 美喜子 2,000 蔭山 淳 10,000 伊藤 仁子 3,000 門間 幸枝 1,000 星野 宗吾 3,000 寄付金(クリスマス寄付金を含む)

小林 義彦 3,000 毛利 亮子 3,000 横浜雙葉学園 10,000 無名氏 3,000 萩原 好子 5,000 斎藤 宏 5,000 中井 博雅 10,000 川北 かおり 10,000 池内 友子 2,000 林 律 10,000 松浦 茂長 5,000 永田 昇 3,000 河原田 美哉子 5,000 高畑 昭久 5,000 神保 正男 10,000 石橋 光朗 3,000 松本 誠 5,000 島田 治夫 2,000 大野 朝男・寿子 5,000 小林 誠治 10,000 水溜 千枝子 5,000 鹿児島加治屋町教会 10,000 恵泉女学園中高・宗教部 20,000 伊藤 仁子 2,000 吉岡 光人・康子 10,000 門間 幸枝 3,000 園山 鈴江 5,000 石川 憲彦 5,000 飯田 庸子 2,000

神学生交流プログラム寄付金

河原田 美哉子 5,000 荒井 献 5,000 日本基督教団長岡教会 10,000 宮本 昶祐 5,000 神保 正男 10,000 関田 寛雄 10,000 同志社大学神学部 40,000 古賀 暢子 3,000 藤倉 寿美子 10,000 早稲田奉仕園 10,000 岡田 春美 3,000 神田 健次 5,000 横浜雙葉学園 10,000

萩原 好子 5,000 竹中 百合子 5,000 島田 治夫 2,000 松井 直樹 5,000 門間 幸枝 1,000

◆関西セミナーハウス

牛尾 宣夫 20,000 武藤 高司 20,000 長谷川 義紘(西院会) 10,000 中井 博雅 10,000 神保 正男 10,000 柴田 賢司 10,000 森口 克洋 10,000 野嶋 和雄 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター 賛助会費

萩原 好子 5,000 脇坂 照世 5,000 徳丸 延子 10,000 糸原 良禎 5,000 糸原 由美子 5,000 木原 諄二 5,000 高橋 壮二 5,000 白方 誠彌 10,000 森 ユキエ 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

藤田 敦子 5,000 鳥井 清司 11,000 細田 和民 10,000 坂本 登 5,000 日本基督教団西が丘教会 16,000 柳井 一朗 10,000 長谷川 義紘 10,000 日本キリスト教会吉田教会 5,000 手銭 秀夫 5,000 家形 日出 10,000 木原 諄二 1,000 今井 奈都子 2,000 間瀬 啓允 3,000 小山 稔 3,000 井上 明・きみ子 3,000 東 千代 3,000 中西 綾子 3,000 日野 多栄子 3,000 和田野 勢津子 3,000 真鍋 裕子 5,000 川北 かおり 10,000 杉本 尚司 2,000 阿部 志郎 2,000 島田 恒 5,000 在日大韓基督教 京都教会 10,000 開発教育セミナー寄付 山本 康夫 3,650 以上、感謝をもってご報告申し上げます。